



2023年3月期
第1四半期決算説明資料
2022年8月10日

社会を変革する **I T イ ノ ベ ー タ**

当社は、2021年3月期については連結財務諸表を作成しておりません。
そのため本資料において、過去数値との比較を行っている項目については、
特段の記載がない限り単体の過去数値との対比になっておりますのでご了承ください。

会社概要 事業内容

業績概要

SIGグループ成長戦略と長期ビジョン



2021年10月1日より持株会社体制となり、社名をS I Gグループと変更いたしました

経営理念

- 1** ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する
ITは社会をより便利な方向へ、より安全な方向へと変えながら皆さんを幸せにしていきます。S I GグループはそんなITイノベーションの先頭に立ちます。
- 2** 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる
ITの技術を真に社会に役立つものにするには安全で迅速で確実なシステムを構築する必要がありますし、これら高いレベルの要求を実現するために自己変革と先端技術の研鑽を実施しています。
- 3** 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する
幅広い人材の育成は企業の使命であり、特に大切とするテーマです。私たちは育成・指導・話し合いを行うことでビジネスを常に前進させています。
- 4** 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す
会社は社員みんなの夢を実現しつつ、事業を通して社会に貢献することが目標であり、その実現に向けて社員一人一人の力を集結させることが大切です。「Going All Together to SUCCESS」を合言葉に、挑戦していきます。

会社名

株式会社S I Gグループ

代表取締役社長

石川 純生

連結従業員数

455名（2022年6月末日時点）

設立

1991年12月16日

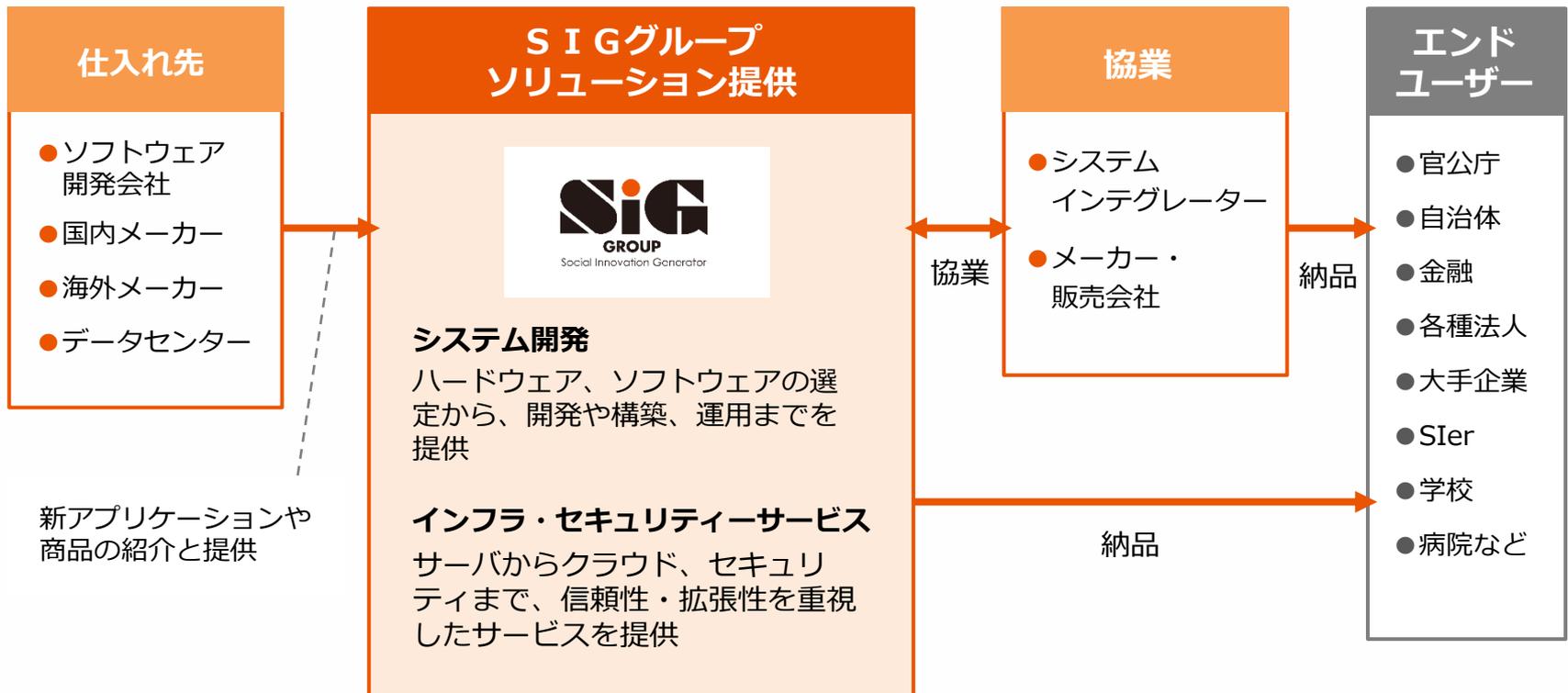
グループ会社

株式会社S I G

株式会社Y. C. O.

株式会社アクロホールディングス

- 官公庁・上場企業のシステム開発から事業拡大し多数の実績とノウハウを獲得
- ソリューション提供を通して、多種・多様なシステムニーズに対応
- ユニークなシステム開発とクラウド化ソリューション提供のポジションを構築



システム開発

最適なシステムとなるよう、業務内容や目的に応じた企画の提案、ハードウェア、ソフトウェアの選定、システムの開発や構築、運用までを提供

官公庁



エネルギー



通信



自動車



FA



インフラ・セキュリティサービス

サーバからクラウド、セキュリティまで設計・構築導入支援、運用管理まで信頼性・拡張性を重視したサービスを提供

証券オンライン
システム構築



防災システム
構築



クラウド/
ビッグデータ



クラウド環境
セキュリティ診断



指紋認証



業績概要

第1四半期累計業績・通期計画サマリー

- 人材の確保が難しい状況の中、グループ体制の活用に一定の効果が見られ、売上は堅調に推移いたしました。
- 案件の増加に伴う外注費などの原価上昇、コロナ禍における労働環境の改善のためのオフィス増床、レイアウト変更などの一時的費用の発生による販管費の上昇により営業利益は対前年を下回りました。
- 持分法による投資利益を63百万円計上し、四半期純利益は前年を上回りました。

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期 (連結)			
	第1四半期実績	第1四半期実績	前年同期比	業績予想 (通期)	進捗率
売上高	1,124	1,207	7.4%	5,544	21.8%
営業利益	46	7	△83.3%	390	2.0%
営業利益率	4.1%	0.6%	-	7.0%	-
経常利益	74	71	△4.7%	420	16.9%
当期純利益	59	64	8.2%	290	22.3%

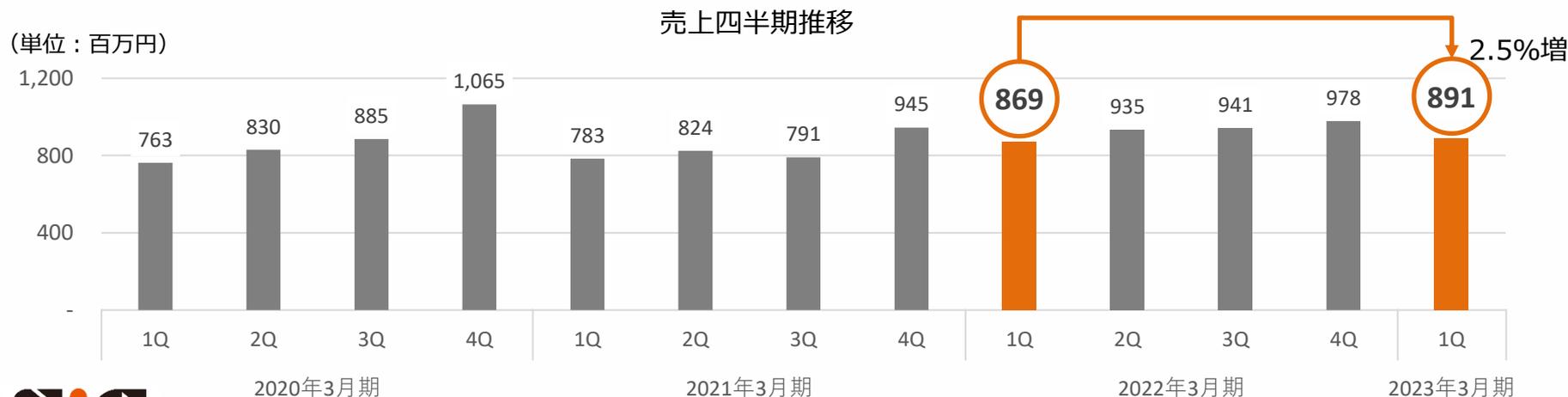
システム開発

(単位：百万円)

	2022年3月期1Q	2023年3月期1Q	前年同期比
売上高	869	891	+2.5%

主要事業領域の各分野での業績は概ね計画通りに推移

- 公共系：政令都市向け人事給与システムの制度改正対応や自治体向け国保標準システム移行、その他既存案件の安定需要により好調に推移
 - 製造系：前期に引き続き5G、PC・サーバー需要拡大とEV需要の増加など電子部品実装装置の市況の好調を背景に、組込系開発および上位システム開発の請負案件受注増加により好調に推移
 - サービス系：EC系開発のうち一部サービスのシステム統合による開発予算縮小に伴い影響を受けるも、仮想移動体通信事業者向けの案件を軸とする安定需要により概ね計画通りに推移
- その他エネルギー、金融系事業分野での安定需要に加え、不動産システム開発等の受注・売上の計上により概ね計画通り



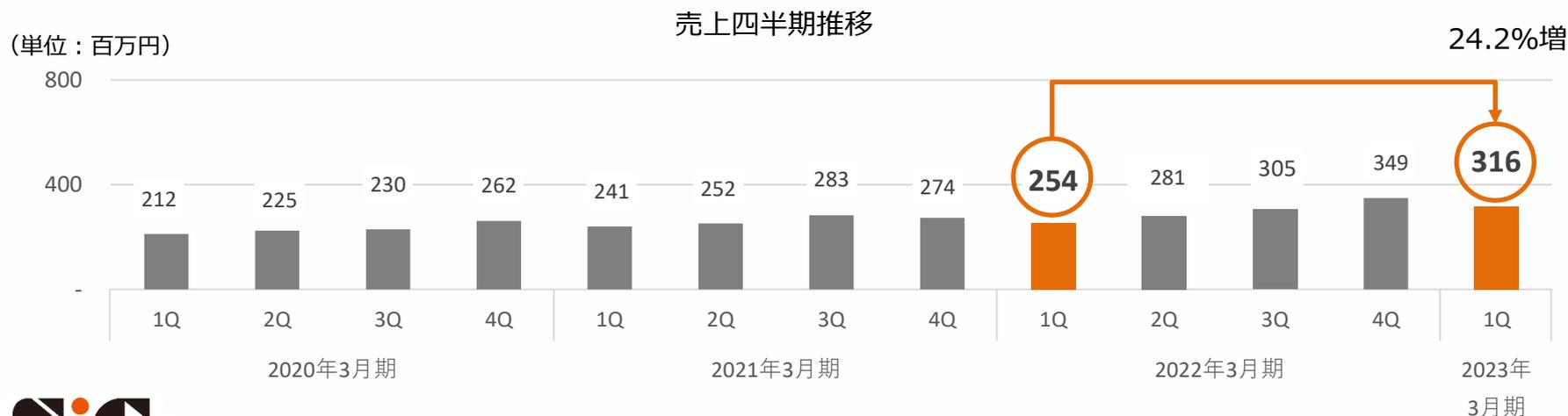
インフラ・セキュリティサービス

(単位：百万円)

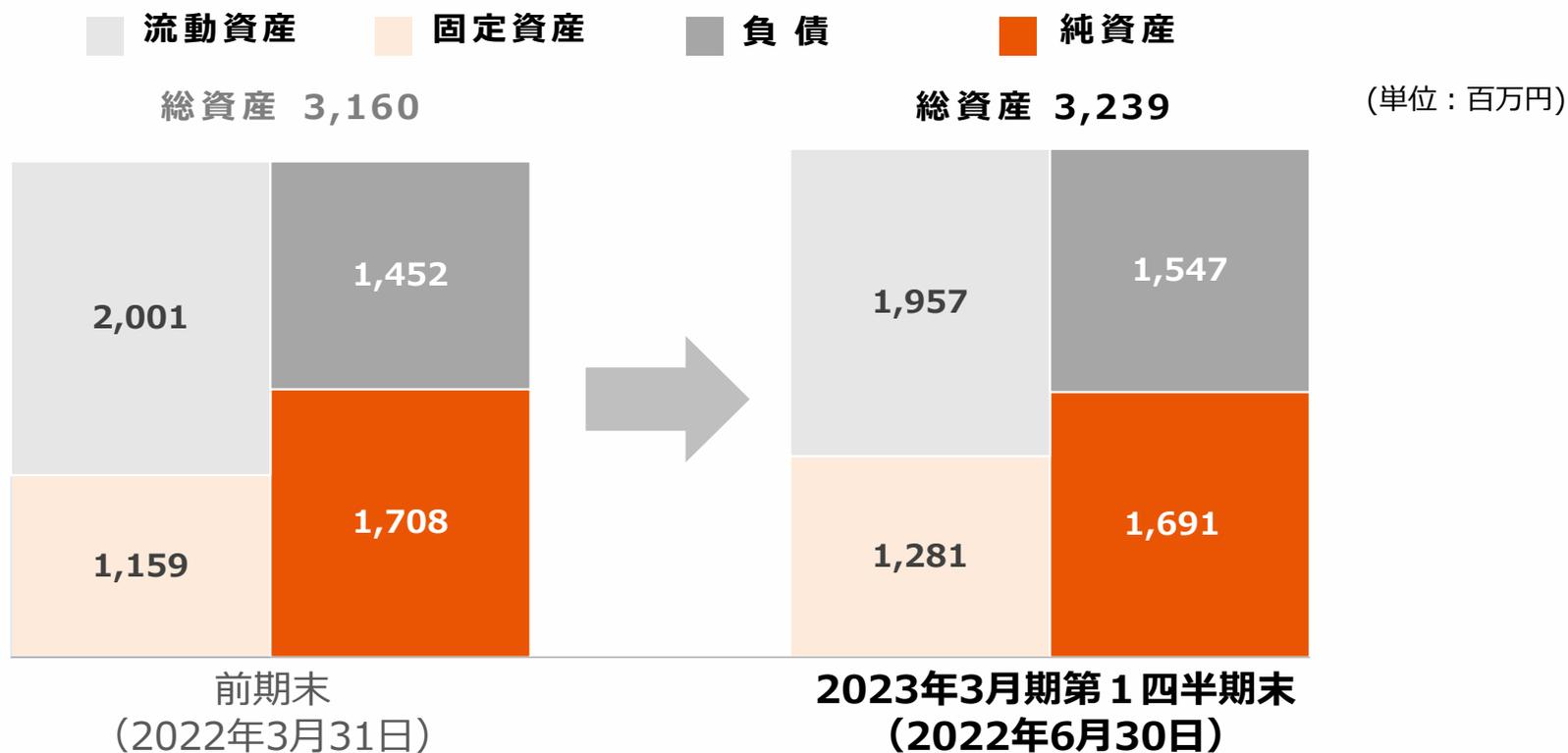
	2022年3月期1Q	2023年3月期1Q	前年同期比
売上高	254	316	+24.2%

前期からの高成長を維持し、例年以上の成長を実現

- 公共系 : 受託領域や開発体制が安定し、堅調に推移
- エネルギー系 : 大型システムリプレースが開始傾向にあり、新規案件の引き合い増により徐々に売上増傾向
- 金融系 : 小規模案件が多く、開発サイクルが短い傾向にあるが、同じ顧客内中心に要員シフトが順調に進み好調に推移
- セキュリティ系 : 実績の積み上げに伴う単価アップにより大幅増益
- サービス系 : AWSクラウド案件やシステム構築案件などの受託（請負）を中心に、新規顧客開拓や未経験分野の小規模案件への取組を推進し順調に推移



- 流動資産：3月末終了案件が多く売掛金が減少
- 固定資産：アクロホールディングス持分法利益の取込による投資・その他の資産増



S I Gグループ成長戦略と長期ビジョン

- ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する
- 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる
- 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する
- 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す

経営理念

ITトータルソリューションカンパニー 「企業の外部CIO*として成長に貢献」

長期ビジョン ありたい姿

現状維持へのシステム構築 既存事業

顧客の所属する業界特有のニーズと仕様・用途を熟知するSIGグループができるソリューションを構築

事業成長へのシステム投資 新規事業

既存事業の業界知識を事業成長のソリューションへ活かす仕組みを構築

中期計画 課題と施策

第1フェーズは、SIGグループ文化の再評価から体制構築

第1フェーズ ~2024

第2フェーズ

~2027

第3フェーズ

~2030

文化の融合による
ビジネスチャンスの拡大

「崖越え*はSIGグループ」

- 大量のDX案件へ対応できる体制を作る
- 顧客に訴求できるソリューションの組成
- 売上：60億円

*崖越えとは、「2025年の崖」に由来し、IT環境のシステム変換ニーズの高需要とその需要に対応する人材の不足を当社で多くを対応しようという試み

ITトータルソリューションカンパニーへ

- バリューアップソリューションを既存顧客へ
- システム構築支援から事業成長支援企業へ
- 売上：170億円（既存60億、新規110億）

企業の外部CIOとして成長に貢献

- 国内：外部CIOとして企業成長に貢献
- 海外：国内実績を活かした事業支援を展開
- 売上：300億円（従業員2,000人体制）

顧客のビジネス変革（DX）を支援

得意領域の実績と
新規事業の注力分野
を融合させ、DX
ソリューションを
提案できる体制へ

持株会社として
機能を活かして
M&Aで機能強化

お互いの強みを活かす
パートナー開発

新規事業

注力分野

スマートデバイス
クラウド
セキュリティ

既存事業

得意領域

公共 製造
社会インフラ
金融 拠点

アクロHD との
協業

グローバル
人材

「崖越えはSIGグループ」の体制を構築し、売上高60億円を達成

方針

- 事業体制強化と成長を勘案した数値目標を設定
- 事業執行の確実性とスピード化、ガバナンス強化のための持株会社化
- DX需要を確実に捉える体制を構築する

売上目標

(単位：百万円)

	2022年3月期 (実績)	2024年3月期
売上高	4,916	6,000
営業利益 (営業利益率)	378 (7.7%)	600 (10.0%)

グループ体制 2022年6月30日現在

持株会社

(株) SIGグループ

企業文化の形成

事業会社

(株) SIG

スマートデバイス開発やクラウド、セキュリティ事業を強みに産学官のDX推進を支える

(株) Y. C. O.

独立行政法人の管理業務等に特化した専門的な深い知識とノウハウを所有

(株) アクロホールディングス

個性豊かなIT企業グループの総合力でデジタル分野の全領域をカバー

AI・IoT事業

製造現場の人手不足対策としてスマートファクトリー化を加速する企業の支援

クラウド環境で
データを集積・AI分析し、
効率性を改善

実績

- IoTを利用した設備保全管理
- AI技術による生産性向上システム

クラウド・セキュリティ事業

旧サーバーからのデータ移管に留まらず、クラウド上のデータ利活用・セキュリティに配慮した提案を実施

クラウド化支援

- クラウドへのデータ移管業務
- データ分析・解析用の基板構築支援

セキュリティサービス

- 脆弱性診断
- アプリケーション設定確認

保守サービス

- 運用状況確認サービス
- ミドルウェアのバージョンアップ

ソリューションセンター

次世代の独自ソリューション開発を検討するプロジェクトを立上げ

各事業部から
次世代事業を
検討できる
人材を結集

現状維持へのシステム投資：ラン・ザ・ビジネス

システム
ソリューション
事業部

ICT
事業部

西日本
事業部

- スマートデバイスソリューションセンター
- CSソリューションセンター

新規事業

事業戦略室

新規事業
推進部

事業成長へのシステム投資：バリュー・アップ

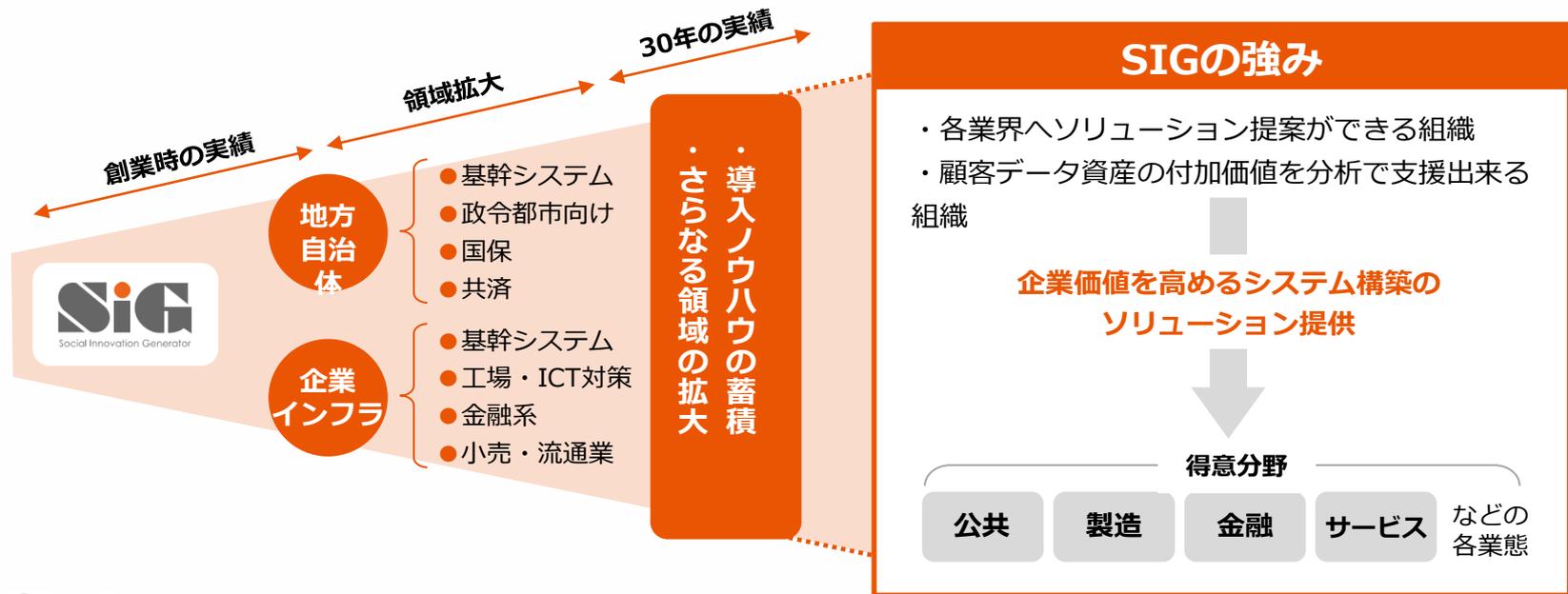
「スマートデバイスソリューションセンター」では、AI・IoT技術を活かしたソリューションを提供します

「CSソリューションセンター」は、クラウド及びセキュリティ事業に関してソリューションを提供の第一弾として「AWS安全化ソリューション」のセミナーを始動

更に増加する顧客のシステムニーズに応える技術力の充実

要素

- **強み** 地方自治体・電力会社等への基幹システム系の導入実績多数
- **強み** 30年の積み重ねで各業態固有の導入ノウハウを蓄積
- **機会** DX対応を背景に、各業態のあるべき姿へのシステム支援を提供
- **施策** システム有資格者を育成し、安定した成長を実現できる体制の構築



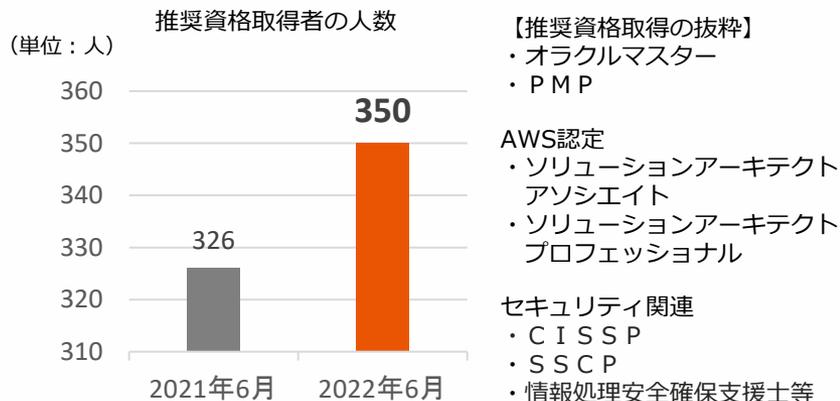
キャリアステージにあったインセンティブ設定と指導の実施

施策

- 資格取得をキャリアパスの一環とし、有資格者を該当業務へアサイン
- 常時接続環境で新入社員（中途入社含む）へITツールを使った指導の実施
- グループ全体の技術力の向上とノウハウの共有で、組織対応力を充実

多様な資格の取得を推奨

- 業務に関連する資格59種類を定義
- 資格保有による人事評価への反映
- 豊富で良質な案件を担当することで、実績を積むことが可能



オンライン環境下での、国内拠点間連携・プロジェクト運営への取り組み

- ITツールを利用し、若手がベテラン社員や上長へ相談をしやすい環境を構築
- 今後は、専門分野の情報共有にも活用予定

【環境構築前】

- リモートワークでは上司に相談するタイミングを計ることが困難
- 世代間のコミュニケーション不足

ITツールの導入

【環境構築後】

- ツールの機能を活用し、上司の業務状況を可視化
- 世代間のコミュニケーションが円滑化

ディスクレーマー

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 当資料に関するお問い合わせ

株式会社 S I G グループ

経営企画室 TEL 03-5213-4580 (代表)